

## 令和5年度 <学校教育目標>

### 『自ら学ぶ 豊かな心をもつ 社会に貢献する 生徒を育む』

\*自ら学ぶ生徒を育てます。

生徒一人ひとりを徹底的に大切に教育をもち、個に応じた指導を行い、生徒一人ひとりが生きる力を育み、自ら問題を解決する力を培うことができるように支援します。

\*豊かな心をもつ生徒を育てます。

一人ひとりの生徒の可能性を最大限に開花させ、心身ともにたくましく、大切な自分を確認しつつ、お互いに支え・励まし・高め合う気持ちをもてるよう支援します。

\*社会に貢献する生徒を育てます。

社会に対する責任を、人として自覚し、地域をはじめ、社会に主体的に寄与する力をつけ、自らの生き方を考えられるよう支援していきます。

#### <目指す生徒像>

「夢や希望をもって、よりよい生き方を考え、自分の考えや思いを伝え合える生徒」

- 自他を認め合い、豊かな心をもつ生徒（自尊感情）
- 目標を定め、主体的に学ぶ意欲をもった生徒（学力向上）
- 正しく判断し、行動できる生徒（規範意識）
- 集団の中で、自分の考えや思いを伝え合える生徒（協働活動）

#### 生徒の行動規範

『支え・励まし・高め合う 桃陵中学生』

#### <目指す教職員像>

「自らの職務に『使命感』と『情熱』をもってあたり、桃陵中学校の教職員として誇りをもって教育実践を行う教職員」

- 高い人権意識と倫理観をもち、常に生徒・保護者の心情に寄り沿うことのできる教職員。
- 常に自己の資質や能力を高め、不断の研鑽を積み研修する教職員。
- 教職員相互が認め合い、理解し合い、時には厳しく相互批判することのできる教職員。
- 「教職員チーム」としての総合力を高め、一人一人の持ち味を活かす教職員。

#### <目指す学校像>

「生徒・教職員が自信と誇りを持ち、信頼され行動する学校」

- 生徒にとって、明るく楽しい、学ぶ喜びを感じる学校。
- 教職員にとって、働きがいのある学校。
- 保護者や地域にとって、安心・信頼・満足を実現する学校。
- 一人ひとりが大切にされ、共に生きることの大切さを学ぶ学校。
- 環境にやさしく、学校予算の有効的な活用ができる学校。

#### <学校経営方針>

○教育目標の実現に向けて、教職員が使命感と情熱を持ち、叡智を結集して、協働態勢をもとに行動する学校づくりを進める。

- 生徒が自らの生き方を考え、目的意識を持って自己目標を設定し、その実現に向けて努力する態度や意欲を育む取組を通して、生徒が「自信と誇り」をもてる学校づくりを進める。
- 学校・園など異校種間並びに地域社会との相互連携を推し進め、地域コミュニティーを大切にされた信頼される学校づくりを進める。
- 学校予算の効果的な活用や施設の有効活用、環境にやさしい学校づくりに努める。

#### <重点目標>

上記学校経営方針達成のため以下のことを重点項目とする。

- 深い学びを創出する言語活動を通して、思考力・判断力・表現力を育成する。（読解力の育成）
- 内面への働きかけを通して、しなやかで豊かな心を育成する。（道徳教育・人権教育の充実）
- 職場体験等、様々な体験活動を通して、社会で自立するために必要な能力や意欲、態度を育成する。（キャリア教育の推進）
- 学校教育活動の情報発信を通して、保護者・地域との連携を推進する。（学校運営協議会やPTAとの連携）